

新たな自治体 議会・議員の役割

3月23日開催

幸田町議会は、「議員のなり手問題を考える」をテーマに、東京大学法学部、金井利之教授を講師に迎え、研修会を開催した。

なり手不足の問題点

これは自治体議員に特有の現象ではない。自治会の役員、民生



講師の金井利之教授

委員、消防団員なども同様である。

町村長は、平成の大会併で鎮静化されている。

無投票は、※うやうや有象無象の人物でも立候補すれば当選して、問題議員を生み出す背景になっている。

一三代表制とは

議会と首長は対等か

首長は、住民でなくても成れるが、議員は住民であることが必要という観点から、首長は、政策決定に議会の同意が必要となっている。

しかし、首長は、お金と人員を掌握している点で、議員に勝る権限を持っている。

議会が政策決定を担う為には、首長の提出予算を減額査定するなどの議決が必要である。

議員は、議場で首長と政策論議に臨むなどの討議が闘技と成るらしいの「見せる政治」を行うことで、住民の関心を引き出す。

議会と人間

議会は多人数になると、意見統一が容易ではなくなる。

意思決定できない「烏合の衆」にならない。

議決は、キレイごとではなく、なまめかしい問題である。

しかし、意見統一は必要であり、会派を結成して、調整し易くする方法も行われている。

不規則発言を推奨

他の議員の発言をしっかりと聞いて、知的なヤジは、必要。

真剣に聞いていないと、適格なヤジは行えないから。

議事を面白くして、住民の関心を引き起こすことにもなる。

◇所感

議員ひとり一人が、議会の魅力を高める努力をしていく事が必要と感じた。

ことば解説

【※有象無象】

取るに足りない種々雑多な人々。



熱心に研修を受ける議員

12年間議会だよりのイラスト描き続けて



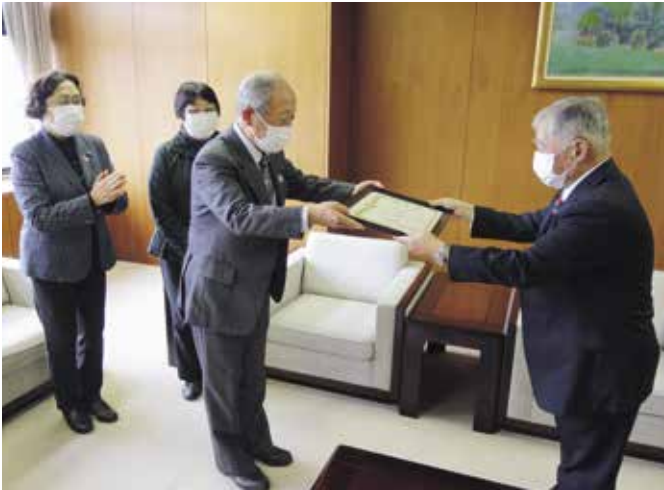
最初のイラスト

まきのつぎお 牧野次男さんに 感謝状を贈呈

令和3年2月15日、
議会だよりの「あい・
らぶ・マイタウン」に
掲載している、小中学
生の作文のイラストを、
12年間描き続けられて
いる牧野さんに、議長
から感謝状を贈呈しま
した。

イラストを描く
きっかけ

毎号の議会だよりに
は小中学校9校の児童
・生徒の作文と、文章
に合わせたイラストを
掲載していましたが、
印刷業者が変わりイラ



稲吉議長から感謝状を贈呈される牧野さん（右）



自宅でイラストを描く牧野さん

ストを描く人がいなく
なりました。

平成21年当時、議会
事務局長だった牧野さ
んがみかねて「描きま
しょうか」と提案があ
り、平成21年5月1日
発行の132号から、
12年間108枚をボラ
ンティアで書いてもら
っています。

イラストに込めた
思い

牧野さんは、児童・
生徒の作文を読み、「幸
田町への熱い思いを感
じ、一筆一筆に心を込
めて描いています」と

話しています。時には、
絵の構想がつかばず、
何日もかけない日が続
き「図鑑を調べたり写
真をとったりして作文
に反映させ、構図を決
めます」「幸田中学校
時代、美術部で統計図
表など書いていたこと
が役に立っている」な
どイラストに込めた思
いを語っていただきました。

議会だよりと牧野次
男さんのイラスト原画
の展示会を開催します。
日時 ● 8月19日～22日
場所 ● 図書館ギャラリー

